

学校だより

【第1号】平成29年4月24日発行

＜群馬県立しろがね特別支援学校通信＞



新しい春を迎えました

群馬県立しろがね特別支援学校 校長 加世田 直人

今年は入学式が例年より2日遅い10日でしたが、それに合わせてくれたかのように桜が満開となり、入学生の新たな門出を祝福してくれました。4月10日、平成29年度群馬県立しろがね特別支援学校の入学式が行われました。また、これに先立ち、7日には一学期始業式が行われました。児童生徒の皆さん、入学・進級おめでとうございます。

さて、本校は、平成27年4月1日群馬県立しろがね特別支援学校として単独校化し、今年度で三回目の入学式が執り行われました。児童生徒67名・教職員65名でスタートです。

本校では、心身ともに健康で、楽しみややりがいを持って、たくましく生きる力を持った人間づくりを支援します。また、集団の一員として、さまざまな役割を果たし、生き生きと自立的に生きていく姿を目指します。小中高3学部から成る本校のよさを発揮し、児童生徒と保護者の皆さん、我々教職員一同が共に育ち合えるように、確実な歩みを進めます。また、今年度は分校から通算20周年という節目の年にあたり、12月に開校記念式典も予定しております。

今後とも、保護者、しろがね学園の皆様ならびに関係の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



ご入学おめでとうございます

4月10日、中学部と高等部の入学式が行われました。高等部1年生の代表生徒が、中学部2名、高等部23名の入学生代表として、「誓いの言葉」を述べました。しっかりとした口調で述べている様子が、しろがね特別支援学校の新年度の始まりを伝えていました。

